

# 患者の皆様へ

令和5年8月16日

呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、「気道及び肺好酸球性炎症病態の探索的研究」について研究を行っています。今後の診療に役立てることを目的に、この研究では千葉大学医学部附属病院に2013年9月から研究課題「血液および気管支肺胞洗浄液および肺組織を用いた呼吸器疾患患者の病態解析—経時的検討」にご参加いただき、保管させていただいている患者さんの診療情報や試料などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「気道及び肺好酸球性炎症病態の探索的研究」

## 2. 研究期間

2023年承認後から2028年3月31日まで

研究の進捗状況によっては、期間が延長される可能性があります。

## 3. 研究の意義・目的

気道もしくは肺でおこる好酸球性炎症に関連する細胞や液性因子を網羅的に解析し、疾患によらず共通する病態の解明を目指します。

## 4. 研究の方法

気管支鏡検査を受けている呼吸器疾患患者さんを対象とし、臨床情報、検査データ(採血データなど)及び、保管されている試料(気管支肺胞洗浄液、血液、肺組織など)を、共同研究機関である千葉大学大学院医学研究院・免疫発生学にて解析します。

具体的には、以下のような解析を行う予定です。

1. 気管支肺胞洗浄液及び血液中のサイトカイン及び、炎症関連ペプチドに関する網羅的な定量解析(ELISA法、Cytometric Bead Array法、qPCRなど)
2. 肺組織の免疫組織化学染色、In situ hybridization等による解析及び、1.で得られた新規分子などの組織学的同定に関する解析

## 5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあ

たっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、当科研究室などの鍵のかかる棚で保管します。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する 倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

**本件のお問合せ先** : 呼吸器内科学

医師 川崎剛

043 (222) 7171 内線5471

**共同研究機関** : 千葉大学大学院医学研究院・免疫発生学・教授 平原潔

自治医科大学呼吸器内科学 准教授 間藤尚子

医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 呼吸器内科 部長 野間聖